



日本鉱業開発・エンジニアリング部技術課係長
鈴木利夫さん (53歳)

掘削「夢掘人」

願いかなえてあげましょう
温泉掘削の記事が、新聞等で紹介されてからは、見学者の数が大分増えってきました。一日、十人なんて



第23区長 (白倉・引田) 黒沢 三さん (65歳)

引田地区は、黄茶を主とした農家がほとんどですが、農業不振による後継者難から過疎化が進み、農地の維持管理も心配される時代に

町の発展に結びつけ

なってきました。
こうした中、降って濡いたような温泉の話題で、村中沸き返っています。この地区はほとんどの人たちが、一度は現場を見に行っているんじゃないですか。ぜひ、実現させてもらいたいですね。
もし、こんな夢がかなうとしたら、引田地区を温泉街入口の表玄関にして、農産物

日もあります。それだけ皆さんへの関心、期待が大きいという事なんですよ。
現在、九人の作業員が、交代しながら仕事を行っています。ボーリング場を行っています。いまのところは一日、二十五時から三下くらいまでのペースで掘削が進んでいます。ペトリメントという特殊なコンクリートで、壁を造りながら、下へ下へと掘って行きます。
昨日(二月二十五日)、四百九十センチ地点の水温を測ったら二十六度ありました。今月(二月)末には、六百センチに達する

の販売等、観光客とタイアップさせ、少しでも地域が潤うような方向に進んでほしいですね。当地にも、近々「住民センター」ができる計画があるので、お湯が出たら、こうした施設に利用してもらいたいです。
若者が残り、活気のある町にするためには、事業主や町、大手企業が協力し合って、第三セクター方式で開発し、将来の町の発展に結びつけて行ってほしいと思います。

んじやあないかな。目標の千二百センチの丁度半分ですね。
この道(仕事)三十年以上やっていると、下から上がってきた砂利等で、ああ、もうそろそろだなぁと言うのが分かるんです。水温も毎日測っていますから。
問題は、お湯が湧いても、その水質がどのくらいあるかという点です。ぜひ、たくさん出てもらいたいですね。
地元の人たちや、社長(中野さん)の夢をかなえてやるために、一日も早く掘り出したいですね。

全面的に協力



土地開発者・会社員
田中寅男さん (49歳)

ボーリング現場は、昔から清水のわき出ている様でしたが、まさか温泉とは驚きましたね。
地質調査に入るのにあたって、事業主の中野さんが

自然に囲まれ、のんびりと……

写真提供・伊香保町



「間違ひなくお湯は出るから心配なくていいよ。ただ、現場は湯量だね」と言っていました。が、やはり一番の課題は、湯量でしょう。
まだ先のことは分かりませんが、近くにはツワリがあるし、ゴルフ場も近々オープンするので、こうしたレジャー産業と結びつけて、効率的な地域開発を望みたいですね。位置的には、景観もすばらしく、最適でしょう。
もし、温泉街を造るような計画が持ち上がったなら、町のために全面的に協力していきたいと考えています。